

農業鑑定森林部門全国大会出場

グリーン環境科3年 藤井優成くん



今回、私は農業鑑定競技森林部門の全国大会に出場することになりました。私がやっている鑑定競技というものは、専門器具の名称や用途、樹木の種類や科名などがランダムで出題されるので、それを解いていく競技です。広い範囲の中で全て覚えるのはとても難しく、大変なこともありましたが、過去の問題を解いたり、専門器具や樹木の実物を見たりしながら日々勉強に励んでいます。熊本県大会では納得のいく結果が残すことができました。悔しい思いをしました。

農業クラブでは昨年と一昨年は優秀賞、3年前には最優秀賞を受賞しています。先輩方が残してくださった素晴らしい結果に私も続くことができようように熊本県代表として、阿蘇中央高校生徒代表として頑張りたいと思っています。応援よろしくお願いします！

生徒会新聞

第2号 (10月発行)

両校舎に**みんなの頑張り特別号**を発行しました。その中で我が阿蘇清峰校舎の農業クラブと社会福祉科より、全国大会に出場します。農業クラブの農業鑑定全国大会は10月23日〜25日に鹿児島県の加世田常潤高等学校にて、全国高校生介護技術コンテストは10月21日に山口県の維新百年記念公園スポーツ文化センターにて開催されます。そんな彼らの活躍と全国大会に向けた取り組みを紹介します。阿蘇清峰校舎みんなで応援しましょう！

全国高校生介護技術コンテスト出場

社会福祉科2年

岩下愛香さん・後藤成美さん・伊藤梨瑚さん

31年前に福祉系高校は産声をあげました。阿蘇中央高校社会福祉科は熊本の県立高校では初。私たちは21期目の入学生です。国家試験を在学中に受験できることはもちろん、第7回全国高校生介護技術コンテストに出場できることに繋がってくださった、皆さん方すべてに精一杯心からの感謝を伝えたいです。笑顔と一緒に土台を作ってくれたクラスメイト、考える力や判断力をくれた先輩方、本当にありがとうございます。

今回は熊本県代表としても、九州地区代表としても3年連続3回目の出場ですが、特に九州地区代表に選ばれる時には、全国大会6回中5回、九州地区の学校が最優秀賞を受賞していたため、とても緊張しましたが、成長できる大きな機会となりました。

介護技術コンテストは設定されたご利用者の方の心身の状態にあった介助や支援を、安全に十分配慮し提供するためにはどうしたらよいか、何が必要なのかをまずしっかりアセスメント(課題分析)したうえで、これまで学んだ知識と技術を統合したケアを披露し、気づきを高めたケアです。同時に、福祉系高校で学ぶ私たちの学習成果の発表を通して、その魅力を全国に発信し、理解・関心を高める大会でもあります。



大会出発前日まで介護実習もあり限られた時間の中ですが、安心して落ち着いた暮らしを継続していただけるような声かけや表情を心がけて「この人に介護してもらってよかった」と思っているだけでももちろん、しっかり状況変化にも対応できるケアとなるよう準備をします。

173日目となる10月21日、県大会・九州大会で味わった達成感や悔しさをもとに、さらなる高みを目指し、私たちは、三本の矢となって山口の地で維新(ことあらた)をおこしますので応援してください！